

tomorrow



HP「ハナモモの会」 ブログ「花咲か作戦」

第11期通常総会を開催しました

5月27日午前、グルッポふじとう会議室Bにて第11期通常総会が執り行われました。

寺島代表の逝去に伴う会則の変更、役員の変更など当会は大きな変動の中にありますが、ハナモモ育樹祭に代わって新しく開催したハナモモまつりもまずまずの成功という評価であり、今後継続していくことに異論はありませんでした。

ただ会員やサポーターなど活動の参加者の高齢化、一部の人間に役割が集中している現状、会の資金が減少する一方である事、行政や近隣の学校との協力、交流など、数々のご意見を頂きました。

6月7日に運営委員会を開き、各課題や提言について検討し、できるところから具体化させていこうと話し合いました。

2023年5月末時点での会員数

個人正会員：29名、団体正会員：2団体

個人賛助会員：11名

2023年度活動計画

①高森山周辺へのハナモモ植栽エリアの拡大

現在近隣企業と植栽協力の打診中です。

②第2回ハナモモまつりの開催

※第1回ハナモモまつりは第10期(2022年度)の行事という位置づけでした。

③植栽や草木の維持管理



第1回ハナモモまつり



ハナモモ薬剤散布



ブルーベリー施肥、草取り



ヒマワリ。今年は6月9日播種



花壇の草取り

第11期役員(任期1年)

代表：糟谷理恵子 副代表：諸戸行雄
運営委員：大井勝三、眞埜豊、岩下昌道(新)
監事：浅井公雄、奥村昇次

寺島靖夫代表の逝去により人事変更があり、承認されました。新代表として糟谷理恵子、副代表として諸戸行雄、そして新しく岩下昌道が運営委員に加わりました。

新代表・糟谷理恵子のご挨拶

私は会創設の約2年後に入会しました。草木の手入れで人の輪を広げていくという「コミュニティガーデン構想」は自分の感性にピッタリだし、いつも楽しく作業に没頭できています。

とは言え会の2大巨頭である林明代と寺島靖夫が立て続けにこの世を去り、否応なしに最前面に押し出されて代表の責務を負うことになり、戸惑いの連続だというのが正直な気持ちです。

でも手をかければゆっくりでも育ってくれるハナモモを見習い、私も会と一緒に成長していけたらと思っています。

新運営委員・岩下昌道の自己紹介

名古屋で生まれ育ちました。学生時代は5年間東京で遊んできました。名古屋から高蔵寺ニュータウンに移り住んで29年になります。子育てでもここで行いました。

自然に囲まれた高座台5丁目に居住しています。完全にリタイアし、純粋年金族です。細野町で畑をお借りし農作物を作っています(ぐうぴい広場に時々出荷してます)。他には調査員のアルバイト、民生委員、市民後見人、地区社会協議会等あれこれと活動しながら過ごしています。

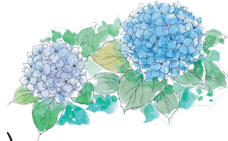
さいごに趣味として妻はいますが毎日夕食を自分の好きなものを好きな味付けで楽しみながら作っています。



◇どんぐりの森階段花壇の改修◇

ハナモモ植樹より前に造った木製花壇をスチール製に改修する作業も、ほぼ終了！お手入れ活動だけでは時間が足りず、有志が集まって板やブロックの積み上げ、セメント流しなど少しずつ行ってきました。

高齢者でも作業が安全にでき、見栄えのいい花壇が出来上がりました。



◇ハナモモ斜面上にフジバカマ栽培◇

どんぐりの森フェンス外側に新しく花壇を造り、フジバカマを植えました。フジバカマは秋に飛来する「旅する蝶」アサギマダラが好んで蜜を吸いに来る日本古来の花。春のハナモモ、夏のヒマワリに続く楽しみができました。

フェンス両面にはフジバカマとアサギマダラ蝶を写真で説明する7枚のパネル。会員の長澤貞夫さんの力作です。



以前の全10段から16段と一気に6段も増加！安定感を最優先で考え、幅広い階段も工夫しました



【寄稿】障がい福祉サービス事業所「たかもり」所長 小原伸二さん

「たかもり」さん運営の「カフェはなもも」さん。障がいのある方の就労の場であるだけでなく、見晴らしが良く内装が洗練されたお店として人気が高まっています。今や「高森台のハナモモ」で人々がイメージするのはこのお店!? この店名もグループホームの名前も、母体法人の養楽福祉会さんが当会と一緒にハナモモで地域を盛り上げよう考えて下さっているお気持ちがひしひしと伝わってきて、本当に嬉しいです。

「カフェはなももの由来」

障がい福祉サービス事業所「たかもり」所長 小原伸二

令和3年8月2日、10時にカフェはなももはオープンしました。店名「はなもも」の由来ですが、平成28年11月10日に「高森台県有地の活用を提案する市民の会」(※注 ハナモモの会の前身)代表寺島靖夫さんにお会いしたことに端を発します。寺島代表は、この地にハナモモの苗木を植樹しハナモモの花をいっぱい咲かせ桃源郷にしたいとの想いを熱く語られました。

私ども養楽福祉会はちょうど高森台地区施設整備最終段階に入っており、知的に障害のある方々のグループホーム及び通所生活介護事業所の建設計画を実施に移す時期と一致しました。法人において新施設の名称をどうするか議論され、全職員から名称を募集することになり、結果生活介護事業所は「たかもり」、付属するカフェは「はなもも」、グループホームは「花桃」が選ばれました。

これは、平成29年から毎年開催されました育樹祭と、年間を通しての高蔵寺ニュータウン・ハナモモ桃源郷の会(愛称:ハナモモの会)さんの継続的・献身的な保護、育成活動を見るにつけ、自然と私ども職員にその真摯な想いが植え付けられていった結果だと思えます。

私どもも、この地にハナモモが一杯花をつけ、桃源郷となり、カフェはなももが皆様に愛されるように尽力することを誓います。



カフェはなもものオシャレな店内